

夏おおがわらまち 議会だより

第140号

平成28年8月1日



- 議案審議(5月・6月議会)…… ②③④
- 議決責任の明確化…………… ⑤
- 町政への提言…………… ⑥
- 常任委員会所管事務調査…………… ⑪
- その後どうなったあの提言…………… ⑲



一般会計補正予算 町民の健康増進 総額78億8,466万円 のための増額補正

平成28年度一般会計予算5006万9000円を追加
歩きたくなるまち創造事業他

歩きたくなるまち事業

大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略の「ローガン」「活力ある健康都市」を目指す戦略の一環として、高齢者になっても元気で健康に暮らすことができる健康寿命の延伸を図るため「歩きたくなるまち」を今後町として推進していく事業である。オーブンディングイベントの実施、ウォーキング



マップの作成、活動量をデータ管理化する。さらにはモデルコースを設定し、その公園内へ健康遊具を設置。またウォーキングロードへの誘導サイン設置等の事業費。

臨時福祉給付事業費

平成28年度の住民税非課税の方に一人3000円、障害・遺族年金受給者の方へ3万円を支給する事業費（補助金）。

合併60周年記念事業費組み替え

NHK「民謡をたずねて」の事業が決まったことから事業費の組み替えを行うもの。

原前霊園補修工事

一部コンクリートブロックで積んである擁壁を解



▲合併60周年記念事業「民謡をたずねて」

いた旧西原集会所の用地。西原中央線の踏切り部分を取得するためのもの。

コミュニティ補助金

一般財団法人自治総合センターコミュニティ助成金で、小島区の椅子、プロジェクター、スクリーン等の購入費補助。

大河原小学校暖房用油配管修繕工事

FF式暖房（灯油式）の給油している本管から教室に配管する枝管の劣化が見られたため42カ所を取りかえる工事費。

世代交流いきいきプラザ管理委託料

土・日の管理を嘱託職員から委託へ切りかえを行う。

西原中央線用地測量・取得

地権者からお借りして

大河原南小学校北校舎軒天修繕工事
アッセンブリホールと第二校舎をつなぐ天井板が一枚落下したための工事費。



▲天井板が落下した大河原南小学校

市の実績も立証している。さらに、当該事業は、国からの補助金はなし、すべて自主財源で実施するためである。学校給食センター等の将来的財政需要を見すれば、今、自主財源を投資すべきではないと断じざるをえない。

【賛成討論】

須藤 慎

「歩きたくなるまち」事業は今後の健康の維持増進や健康寿命の延伸を考えた場合、町にとって必要な事業と考える。更には給付金や原前霊園の補修工事等を行う補正予算である。「歩きたくなる町」事業は平成27年度の国の補正予算に要望したが採択とならなかったことから今回の補正予算での対応となったもので致し方ないものと考えてる。

※討論とは

一般的には一定の議題について意見を闘わせる

【反対討論】

佐藤 貴久

歩きたくなるまち構想に反対する。運動無関心層と不十分層にアプローチしても、継続的な運動習慣は定着しない。伊達

○監査委員の選任

永井 昌利氏

6月をもって任期満了となる監査委員選任について、引き続き「永井昌利」氏とすることに同意。

○大河原町企業立地及び事業高度化を重点的に促進すべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について

○大河原町復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について

企業立地等の促進に関する税制面からの支援について省令の改正を受け、適用期限を延長するもの。

一般会計

主な補正予算

収入
歩きたくなるまち事業参加負担金 30万円
臨時福祉給付金事業費補助金 2400万円

支出

活動量データ管理システム運営委託料 620万円
ウォーキングロード誘導サイン等工事費 200万円
臨時福祉給付金 2400万円
原前霊園改修工事費 350万円
コミュニティ補助金 210万円
世代交流いきいきプラザ施設管理業務委託料 94万6千円
大河原小学校暖房用油配管修繕工事費 130万円
大河原南小学校北校舎軒天改修工事 85万9千円

《平成28年第1回定例会(5月)、平成28年第2回定例会(6月)議案等審議結果》

件名	議決月日	議決結果	議員別表決結果一覧														
			佐久間克明	須藤 慎	大沼 忠弘	高橋 芳男	岡崎 隆	丸山 勝利	堀江 一男	榎 和也	佐藤 貴久	庄司 充	万波 孝子	佐藤 巖	安藤 征夫	山崎 剛	秋山 昇
固定資産評価審査委員会委員の選任	5/23	同意	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	議
大河原町工業用地造成事業特別会計条例の制定	5/23	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度大河原町一般会計補正予算(第1号)	5/23	可決	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	議
平成28年度大河原町工業用地造成事業特別会計予算	5/23	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
監査委員の選任	6/16	同意	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	議
大河原町企業立地及び事業高度化を重点的に促進すべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正	6/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
大河原町復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正	6/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度大河原町一般会計補正予算(第2号)	6/16	可決	×	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	×	議
平成28年度大河原町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	6/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書案	6/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

《表決の区分》 投：投票 ○：賛成 ×：反対 退：退席 除：除斥 欠：欠席 議：議長なので表決に加わらず

議決責任の明確化

金ヶ瀬川根地区への企業立地が促進

▽一般会計補正予算

川根工業用地売買契約のための減額

平成28年度に売り払うこととして計上していた1億790万円を減額。平成27年度においてコイワイ株式会社及び株式会社とくら運送との川根工業用地売買契約が成立したことによる用地取得費の減額。また新たに設置する大河原町工業用地造成事業特別会計への繰り出し金を計上。

水中運動教室委託料

運動不足による体力低下を防ぐために中高齢者を対象に運動するきっかけづくりを行うために水中運動教室を実施するもの。

財政調整基金

(平成28年3月末現在) 15億5700万円

※財政調整基金とは

自治体が財源に余裕がある年に積み立て、不足する年に取り崩すことで財源を調整し、計画的な

財政運営を行うための貯金。

〔反対討論〕

大沼 忠弘 議員

水中運動教室委託料に異議がある。民間施設を使用する事で民間の営利活動に町が補助を出すような形とも町民からは受けとめられる。尚且つ昨年度から継続事業になるにも関わらず、当初予算ではなく補正計上されることも理解し難い。参加希望者も初回以降は募集をかけても定員を割る状況であり、空いた枠を埋めるために参加歴のある方へ声がけをして同じ利用者らが重複クールのにまたがっている。ほぼ特定の町民だけに偏った事業は見直しを考えるべき。

〔賛成討論〕

堀江 一男 議員

本町の念願であった川根工業用地取得などが盛り込まれ、今後の本町発展に欠かせないものになっている。反対の理由とされた水中運動教室委託料については、今年度は

事業先との調整に時間を費やしたため、今回の予算措置となった。行政が民間施設を活用し、専門知識を活かしながら健康づくりを図ることは、協働のまちづくりの一環としてもすばらしいものと考えてる。

一般会計 主な補正予算

収入	
土地売却収入	△1億790万円
財政調整基金繰入金	1億2850万円
支出	
町村会負担金	10万円
汚泥収集委託料	400万円
川根工業用地側溝改修工事	320万円
川根工場用地取得費	△6650万円
工業用地造成特別会計繰出金	7941万円
水中運動教室委託料	39万円

意見書

軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書

「脳しんとう及び軽度外傷性脳損傷への対応について」

- 1、教育機関での周知徹底と対策(学校などの教師、保健師、スポーツコーチにポケットSCATの携帯と頭頸部に衝撃を受けたと推測された場合には、症状を客観的に正確に観察して判断を下すとともに、家庭への報告も義務付け、経過観察を促すこと。)
- 2、専門医による診断と適切な検査の実施
- 3、周知、啓発、予防措置の推進と相談窓口の設置
- 4、園内及び学校内で発生した重大事故の繰り返しの防止

▽大河原町工業用地造成事業特別会計条例制定

金ヶ瀬川根地区内3・1ヘクタールの町が行う造成事業について、事業の円滑な推進と経理の適正を図るため、特別会計を設置するもの。

▽大河原町工業用地造成事業特別会計予算

予算総額は2億4821万円。歳入は、県貸付金1億6880万円と一般会計繰入金7940万円。歳出は、用地取得費2億3215万円ほか、測量、施設等移転補償費。



デマンド交通 視察研修

5月31日利府町議会総務財政常任委員会の皆さんが、将来の利府町の交通対策の在り方の検討にあたり、本町の「デマンド交通の現状と課題」について、視察研修に見えられました。

執行部から企画財政課、議会からは総務文教常任委員長・副委員長が出席し、事業の内容から課題まで、幅の広い意見交換となった。

将来における住民の足の確保、交通手段については、高齢化社会への対応はもちろん、多くの課題が見えてくる。



▲予約センター視察

ほり 一男
堀江 一男

問 職員給与の改善に取り組め

答 水準の見直しが必要

町長 職員給与は条例・規則に基づいて適正に行っているが、これまでの人事院勧告に準拠した給与条例等の改正内容や権限移譲に伴う事務量から

問 地方公務員をとりまく状況は、給与が上がらない、退職金が削減される、年金支給額が下がる、人員削減で仕事量が増える等、大変厳しい状況にある。町長は優秀な職員がいつぱいいて、積極的に提言や仕事をやってくれていると言っているが、この優秀な職員達に十分な対価を支払っていると考えているのか。



▲町民生活課窓口業務

みると、十分と言えない状況と感じている。

問 優秀な職員を集めるためには、勤務条件が良くなければ集まらない。現在の職員給与は6級制で、最高月額が40万9千

で7年前より2万円以上も低くなっている。柴田町は7級制を導入している。本町としても7級制が必要と考えるがどうか。

町長 総務課において給与水準の改善に向けた研

問 これまでの町政運営の自己評価と、今後の町政運営についてどのような考えを持っているか。

町長 町長職という重責を担わせて頂いてから、常に財政健全化に努めながら、掲げた22の公約の8割を実現し、公約以外の事業を含め約70の新規事業を実現できた。また、拡充した事業も約30あり、「福祉の町」「先進の町」の創造に向け、一歩前進することができた

究をスタートさせている。7級制を含めて給与水準は、時代のニーズに対応できる組織、階級制度と併せて、総合的に見直すことが重要と考えている。

考えるが、私が思い描く町づくりを完成するには至っていない。さらなる具現化を見据えた「第6期長期総合計画」の策定など、町長として引き続き重責を担わせて頂きたい。

再度、町民の為に汗を流す考えはあるのか

一般質問

町政への提言Q&A

一般質問

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどをただすもの。今回10人の議員が行った。

堀江 一男 P ⑦

- 職員給与の改善に取り組め
- 再度、町民の為に汗を流す考えはあるのか

高橋 芳男 P ⑧

- 全ての赤ちゃんに聴覚検査を
- 上水道の老朽化対策
- 危険踏切改良へ

丸山 勝利 P ⑨

- 「絵本のへや」の復活を
- 農地への不法投棄対策を

万波 孝子 P ⑩

- 希望者全員が利用できる学童クラブの実現を
- 上谷・上大谷区民を守れ 環境汚染対策に万全を

佐久間克明 P ⑪

- 土手にフットライトなどの設置を
- 障がい者雇用の促進と親の高齢化対策で生活環境に安心を

枡 和也 P ⑫

- 街路灯・公共施設のLED化を急げ

大沼 忠弘 P ⑬

- 桜まつりの値上げによる駐車場の利用実績は

山崎 剛 P ⑭

- 桜まつりへの対応は
- 投票所の変更への対応は

岡崎 隆 P ⑮

- 行政区改編による地域力の更なる向上を図るべき

佐藤 貴久 P ⑯

- こころの教育は、子ども目線に着目すべき
- ごみ集積に関する現状と課題を問う





まる やま かつ とし
丸山 勝利

問 「絵本のへや」の復活を

答 分散のまま充実させる

問 「絵本のへや」が廃止になり新たに3カ所に分散し絵本コーナーが開



▲「絵本のへや」の復活を

設されたが、到底使いや
すい、利便性の良い、環
境の整った施設になつて
いないのが現状だ。廃止
については、「絵本のへや」
に閉鎖の張り紙が掲示さ
れる数日前まで開かれて
いた予算委員会では何の
説明もなく、例年通りの

一般質問

問 全ての赤ちゃんに 聴覚検査を

答 今後検討する



▲保健センターでの健診

町長 聴覚障害を早期発
見し、療育に繋げる対応
を検討する。効果を上げ
るには全額補助が適当と
考えられる。100万円
を超える予算を必要とす
ることから、受診勧奨の
効果を見極めながら、子
育て支援における費用対
効果などを総合的に勘案
し、対応していく。

問 新生児難聴検査は、
専用の機器を用いて、寝
ている赤ちゃんの耳に音
を流し、脳波や返つてく
る音によつて聴力を調べ
る。痛みはなく、検査は
数分で終わる。また、5
00円や1000円程度
のクーポン券のようなも
のがあれば、受診しやす
くなるのではないか。

一般質問

上水道の老朽化対策

問 高度経済成長期に集
中の整備されたインフ
ラは、今後一斉に老朽化。
事業継続が厳しい①人口
減少、節水意識で使用量
減②職員の削減、専門技
術者の減少、高齢化。③
耐震化の遅れ。水道事業
の継続のためには広域化
を一層進めるべきではな
いか。

町長 金ヶ瀬揚配水場の
建替え工事は平成29年度
で完了、取水施設から配
水池まで耐震化施設とな
り、老朽施設更新が図ら
れる。人員確保、技術継
承に努め、水道事業継続
のための広域化の必要性
は、将来的課題とする。

危険踏切改良へ

問 後を絶たない踏切で
の事故を減らすため、国
主導で鉄道会社と自治体
に安全対策を義務付ける
改正踏切道改良促進法
が、4月から施行された。
当町にも7カ所の踏切が
ある。鉄道会社と自治体
の義務化に、当町も取り
組むべきではないか。

町長 国土交通省が踏切
道改良基準により指定、
一日当たりの踏切自動車
交通遮断量が一定以上、
一日当たりの踏切自動車
交通遮断量、踏切歩行者
交通遮断量、一時間当た
りの開かずの踏切、宮城
県は5カ所の指定、本町
の踏切は県道も含めて、
7カ所指定なし、今後、
関係機関と協議していく。

予算も計上され、可決成
立した。しかし、その後
の議会において、議会を
中断してまで全員協議会
を開催し、8月末で廃止、
3月までの跡地利用を説
明、予算の使い切りを提
案した。また同じく6月
議会に「絵本のへや」を
守る会より存続を求める
請願が出され、9対4の
圧倒的多数で請願が可決
された。また「絵本のへ
や」を守る会より署名を
添えて提出された陳情も
黙殺し、議会、町民を無
視して「絵本のへや」が
閉鎖、廃止された。

ランティア団体の方々が、
読み聞かせなどを行い、
大河原町のためにポラン
ティア活動をしてきてい
ただいた方々に対し、高
圧的な態度をとり、「絵
本のへや」を廃止した。
「絵本のへや」を復活さ
せるべきではないか。

町長 利用者の利便性を
図り町内各所に設置する
形で充実を図ったもので
ある。今後も各施設の絵
本コーナーを充実させな
がら、多くの方々にご利
用いただけるよう努力し
ていく。

「絵本のへや」ではポ

農地への不法投棄対策を

問 水田などに空き缶、
空き瓶、ペットボトルな
どの不法投棄が増え、農
作業に支障をきたしてい
る、対策を急げ。

町長 地元の区長さんや
農家組合長さん等と相談
しながら対応していく。



さく ま かつ あき
佐久間 克明

問 土手にフットライトなどの設置を

答 企画立案を含め一案として参考にする

町長 本年度よりプロジェクトチームでの企画立

問 「歩きたくなるまち」に関して「宇町土手147」の土手付近の整備を検討してはどうか。

町長 桜まつり会場に設置し、大変好評だった。来年も桜まつり実行委員会です。通年設置については設置場所、管理方法等前向きに検討する。

問 桜祭り期間中、耳にする機会が多かった「無料WiFi」の設置を。外国人観光客もSNSにて発信してくれる。費用対効果を考えれば広告宣伝費として考えられる。

一般質問

問 特に左岸側土手は下流の荒川との合流部までウォーキングコースや通路となつてはいるが、街灯も無く危険である。景観も考慮してフットライト設置などの検討をしてはどうか。

案の検討を行っている。指摘箇所は「第二の絶景ポイント」でもあることから魅力ある提言と考え参考にする。



▲フットライトなどの設置が求められる白石川左岸土手

問 町内小中学校へ通えているのか。町外の場合の通学手段の現状は。

町長 各学校の特別支援学級に通学する。障がいに応じ町外の県立支援学校へ通う場合は、スクールバスや自力で交通機関を利用している。重度の場合「訪問教育」も可能である。

問 重度の場合、保護者が常に介護していると考えるが、短時間や週末などの通所施設の利用状況は。

町長 日中の活動場と家族の一時の休息を提供する「日中一時支援事業」があり、1人平均10日利用している。

問 数年後深刻化する「障がいを持つ子ども

問 希望者全員が利用できる学童クラブの実現を

答 対策を十分検討したい



まん なみ たか こ
万波 孝子

共働き・一人親家庭が増加し放課後や学校休業日の生活を継続的に保障し、保護者の働く権利と



▲すべての希望者が利用できる学童クラブの実現を

一般質問

家族の生活を守る学童保育の役割は、一層重要になっている。

問 昨年4月から始まった「子ども・子育て支援新制度」で、対象者は小学6年生まで拡大されたが、申し込んでも利用できない児童がかなりいる。整備を急ぐべきでないか。

町長 大きな課題と認識している。対策を十分検討する。金ヶ瀬カトリック保育園の建替えに伴って、学童クラブ（平成29年度完成、45名）も整備する。これにより金ヶ瀬小学校学区は心配なくなる。

問 32名が不承認となつたが、放課後の生活は大丈夫なのか。夏休み等の学校休業日は職員増で対

応していくべきでないか。

町長 4年生以上は学校や家庭で過ごして頂いている。夏休み等は登録児童以外でも希望者は一時預かりの利用で対応できる。現在のところ職員増は考えていない。

上谷・上大谷区民を守れ 環境汚染対策に万全を

角田市に完成する仙南クリーンセンターは12月1日から試運転が始まる。仙南2市7町の可燃ごみ搬入開始を目前に、今なお上谷・上大谷地区住民の間で環境汚染を心配する声がある。地区住民と広域組合と公害防止協定を締結するにあたって。

問 モニタリングポスト設置や、住民の要望が反映された協定書になるよう最大限努力すべきではないか。角田市の地元対策費は6億超、当町はゼロ。町長の見解はどうか。

町長 モニタリングポストの設置や住民の要望を盛り込んだ協定書になるよう検討している。

問 午後6時30分以降も開設すると職員賃金増等の処遇改善のための国の補助制度がある。保護者のニーズ調査をしてこの制度の活用を望むが。子ども家庭課長 実態調査をして検討していく。

障がい者雇用の促進と親の高齢化 対策で生活環境に安心を

問 親の高齢化について、町の施策や実行時期をどのように考えているのか。

町長 親は最大の不安と関心である。次期「障がい者計画・障がい者福祉計画」策定時にアンケートを実施し支援策を考える。

問 障がいを持つても、就労し納税出来ることが自身の勇気になる。また、家族にとつても「大河原町に住みたい」とつながるのではないか。

町長 民間企業への障害者雇用実雇用率は1・88%で法定雇用率の2・0%を下回る。しかし、雇用者は年々増加しており、引き続きハローワークと連携し働きかけを行っていく。



おお ぬま 大沼 忠弘

問 桜まつりの値上げによる 駐車場の利用実績は

答 昨年13,277台 今年9,244台

問 桜まつりの開始を早める事は出来なかったのか。

町長 全ての施設を臨時に設置するので許可申請や搬入の繰り上げが難しい。

問 来場者数の実績、柴田町との比較はどうだったのか。

町長 23万2000人で昨年より8000人減となっている。柴田町は25万2000人で昨年より10000人の増加となっている。

問 来場者数の元になるデータは何か。

町長 あくまでも推計だが、臨時駐車場を含む駐車場利用台数、大河原駅

一般質問



▲来場者に喜んでいただける設営に検証をもとに改善を

問 外国からの来場者に対するガイドは進んでいるか。

町長 無料WiFiの設置や案内所等へ英語のできる方を配置した。来降以降もガイドマップの作

問 桜まつりの会計決算が議会に開示される事はないのか。

町長 町からの補助が桜まつりと夏まつりを対象としているので夏まつりの決算報告を受けた後に公表可能である。

問 桜まつりの会計決算が議会に開示される事はないのか。

町長 町からの補助が桜まつりと夏まつりを対象としているので夏まつりの決算報告を受けた後に公表可能である。

問 観光に対する取り組みに柴田町とは温度差がありすぎるのではないのか。

町長 確かに柴田町では「花の町しばた」を重点施策として取組んでいると感ずる。常時利用できる観光施設などに大きな違いがあり、様々な意見と異なる評価をいただくことは仕方ないと考えている。

問 規模や期間拡大の考えはないか。

町長 生産者側の考えを重視し、町側としては考

問 これまでの来場者数の推移はどうなっているか。

町長 平成25年約1800人、26年約1900人、27年約1800人で横ばいで推移している。

問 梅まつりによる当町の梅のPRに繋がる検証結果はどういったものか。

町長 特に検証はしていないが、来場者の声から効果があると思われる。

問 DVDや動画共有サイト等を使った町の魅力発信の考えはないか。

町長 町HPではPR動画を掲載しPRしてきた。今後は全国移住ナビサイトに掲載を予定、加えて既存の媒体を活用し、多様な発信を進めたい。

問 街路灯・公共施設のLED化を急げ

答 ESCO事業等の取り組みを検討している

問 再生可能エネルギー導入事業は、温暖化対策と地域防災の拠点となる公共施設に再生可能エネルギー活用機器等を導入する事業で、これまで太陽光発電施設等を設置してきた。町の数値目標・計画ではどこまで達成し

町長 これまで、グリーンニューデール基金を活用し役場庁舎他6施設に導入してきた。数値目標はないが、予算を考慮しながらより多くの施設に導入できるよう検討する。

問 次世代型住宅推進事業はどれぐらいの世帯に設置してもらう目標か。また、電気自動車導入は公用車の買替え時期にこれからも検討されるのか。

町長 家庭から排出されるCO2の削減に向け次世代型住宅推進補助金交付事業を積極的に推進し、多くの世帯に再生可能・省エネ設備を導入していただくよう推進する。電気自動車については費用対効果を勘案し検討する。



▲LED化が待たれる街路灯

問 次世代型住宅推進補助金の使い勝手を良くするため、LED導入単独でも交付できないか。

町長 検討する。

問 公共施設と街路灯のLED化率はそれぞれどれぐらいになっているか。また、光熱費などの削減効果を早く実現するためLED化ESCO事業を検討し取り組む考えはないか。

町長 公共施設が全体の6%、街路灯は約26%である。ESCO事業は本町においてのメリットなどについて現在取り組みを検討している。

※ESCO事業では、建設費、事業者の経費などを省エネルギー改修で実現する光熱水費の削減分で賄うことを基本としている。自治体の新たな財政支出を必要とせず、契約期間終了後は削減分は全て自治体の利益になる。



おかざき 隆
岡崎

問 行政区改編による地域力の更なる向上を図るべき

答 行政区改編等を今後の検討課題とする

問 各行政区の人口動態をみると激しく面積も広がり変化している区と面

第5次長期総合計画が示され、間もなく平成31年度からの基本構想の骨格づくりに入るわが町は地域力を最大限に高めるために新しい地域の在り方、運営について真剣に取り組むべきである。

人口減少・少子高齢化・2025年問題とわが町を取り巻く環境は厳しさを増していくが課題を乗り越えながら町長公約の通り健康寿命の延伸を図るべく、「歩きたくなるまち」を目指していくべきと考える。

積は変わらず高齢化が進み人口減少が続いている区と様々である。今後を見据えNext大河原ゆめプランに記載の通り43行政区の改編に取り組む姿勢があるのか。

町長 4月末で世帯数600を超える行政区が2つ、550以上が1つ、400以上が3つ、300を超える区が全体の3割を超える現状である。改編の必要性は十分に感じているが今後の検討課題とさせていたきたい。永年築き上げられたコミュニティの変更に相応の時間と労力を要する。

問 一斉清掃の公園等の草刈りのマンパワーが各行政区で不足していく。自走式の草刈り機を町が購入し、行政区に貸し出す。または効率的な自走

一般質問

問 草は同時期に急速におがるので、少ない台数を町で用意しても取り合

町長 前向きに取り組む。実現できるように行政区と協議に入る。

式草刈り機等の購入には補助を出すなどの検討を

いになる。多くの台数を用意するということをし添える。

地域整備課長 そのこともしっかり受け止めて実現を目指していく。



▲町民一斉清掃の様子

問 桜まつりへの対応は

答 新たな取り組みが求められる

問 町として桜まつりをどのように総括したのか。

町長 異例の早さの開花により来場者が分散し、来場者数も減少した。学校校庭の無料駐車場、JRの増便等で渋滞も無く桜まつりはおおむね良好であった。

問 主催者への意見や要望はあったか。

町長 花見弁当への要望等と駐車協力金への意見・要望等があった。

問 まつり開始日の繰上げの検討はしたのか。

町長 関連施設等の都合



▲異例の早さの開花により、来場客が分散した桜まつり

上繰上げは難しかった。

町長 実行委員会での協議で決定されたものと認識している。

問 桜まつりと夏まつりの予算決算に町長の発言が関係したことはなかったか。

一般質問

町長 実行委員会での決定と認識しているので、

私の発言が関係したとは考えてない。

投票所の変更への対応は

問 投票所の集約状況を尋ねる。

選挙管理委員長 昨年6月に投票区と投票所の見直しを行い、小山田生活センター、小島生活センター、大河原小体育館を廃止し、橋本交流センター、世代交流いきいきプラザ、総合体育館を新たに投票所とした。選挙人の利便性等を考慮したもので、今後の再編は考えていない。

問 投票所の変更は人口減少を見込んだものか。

選挙管理委員長 今後の人口減少を見込んだものではない。

問 投票所の変更の際に住民の意見等はあったか。

選挙管理委員長 事前に

意見聴取等はしなかったが、駐車場等の施設面は考慮した。

問 町民に対する職員の説明が不親切ではないか。

選挙管理委員長 期日前投票制度を説明したが、今後注意する。

問 町民不在の対応との声にどう答えるのか。

選挙管理委員長 有権者の負担軽減と投票率向上に向けた対策を講じる。

問 町長判断に対する疑問や不満への対応を尋ねる。

町長 最大多数の最大幸福を実現するため、町民の声に耳を傾け、町政に対しご理解頂けるよう今後も努力していく。

委員会調査 町への提言

総務文教常任委員会
軽度外傷性脳損傷等の周知と予防の現状と課題
交通事故やスポーツ等で頭部に衝撃を受けたことで発症する病気である。教育現場や指導者は正しい認識を身につけることが大切である。政府に対してこの病気の「周知と予防、危険性や予後の相談の出来る窓口の設置」を求める意見書提出を確認した。

放課後児童クラブの現状と課題
昨年4月から制度が変わり「子ども・子育て支援新制度」により対象者は小学6年生まで拡大された。しかし、受け皿の整備が遅れているため利用できる児童がかなりいることがわかった。視察した金ヶ瀬児童クラブは、当町においては初めての民家借り上げだが、児童クラブの子ども達は家庭的な雰囲気の中で仲良く、いきいきと利用していたので安心と温かさを感じることができた。

産業建設常任委員会
川根工業団地企業誘致の進捗状況
町では平成26年4月の町道川根工業団地線の供用開始にあわせ、これに隣接する町有地約2万7000㎡に企業誘致を進



▲民家を借りて使用している金ヶ瀬児童クラブ

学校から近い恵まれた場所に児童クラブがあるが、利用する児童の安全、安心確保のために街路灯の要望が出された。早急の対策を求める。平成29年度中には金ヶ瀬カトリック保育園建替えに伴い、最大45名の学童クラブが整備される。今後は大河南小学校学区の受け皿整備が急務である。

②(株)とくら運送
平成28年3月16日売買契約。(株)宮城ニコンプレシジョン社に精密機器製造機械の組立工場として工場を建設し賃借する。平成28年10月の操業開始を目指している。

③コイワイ(株)
平成28年3月16日売買契約。自動車部品製造のための工場新設計画。

コイワイ(株)視察
1973年創業で、本社は神奈川県小田原市である。2004年に宮城工場(川根工業団地)を開設した。創業以来40年に渡り試作・研究開発用鋳物部品製造に軸足を置き、技術を蓄積している。2007年、日本発の3Dプリンターによる「積層砂型鋳物サージビュロー」を開発し、2013年アジア太平洋地域ナンバワンの生産能力と技術により年間100社以上、600種類に及ぶ試作鋳物作りの実績を有する企業であり、村井宮城県知事も視察に訪れている。今回は社長自ら説明をいただき、工場内を案内していただいた。改めて、会社の技術力の素晴らしさを再認識した。今後、工場が新設されることにより若い方の雇用が増えることを期待するとともに、町からも町内の方を採用していただけるよう要望する。



▲コイワイ(株)小岩井社長より説明を受ける

問 こころの教育は、子ども目線に着目すべき

答 その方向性で進める



さとう たかひさ
佐藤 貴久



▲オーガに設置された「子どもの心のケアハウス」

問 こころの教育の一端を問う。
答 不登校の児童生徒は何人に及ぶのか。
教育長 小学生5人、中学生が21人いる。

問 当町の不登校の出現率が宮城県の出現率を上回っているのはなぜか。
教育長 自治体ごとの不登校出現率は公表されていない。

問 スクールカウンセラー1巡回数を学校ごとに示して。
教育長 大小が22回、南小は8回、金小は6回。

問 子どもの心のケアハウス事業スタッフの平均年齢は何歳か。
教育長 平均年齢は60歳。教職未経験者は1人である。

問 当該事業費で、一般財源が占める比率は何%か。
教育長 約3%であり、残り97%が県の補助である。

問 町政レポートに不登校児童に愛の手をという内容がある。当該事業は町独自の施策ではなく、みやぎ子どもの心のケア

一般質問

ハウス運営支援事業に手をあげて、実施する。しかし、町政レポートは、その事実になれていない。真意は何か。

ごみ集積に関する現状と課題を問う

問 衣類等回収事業の成果と課題を示してほしい。
町長 現在のところ約3トンから約4トンの間で推移している。今後、活用状況の公表を検討する。

問 アパートと貸家の集積所設置基準は何か。また入居者以外の利用状況はどうか。
町民生活課長 新規で6世帯以上。トラブルが発生したことがあり、実態により検討する。

問 一般の集積所設置基準は規定されているのか。
町長 基準はないが、人口、面積に応じて今後検討する。

問 可燃ごみ有料化実施

問 ルールを守らない集積所対策は講じているか。
町長 管理者と相談し、利用者に注意を促している。

問 集積所の業務委託の入札参加基準を示してほしい。
副町長 入札参加基準の改正は、現状では考えていない。

町長 財源を明確にする慣習がない。県の補助にふれる必要性を感じなかった。

その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の経過について追跡レポートを実施してみました。

防災対策・自主防災組織の結成を



▲大規模災害発生を想定した「総合防災訓練」

提言

いつ地震が起きてもおかしくない時期に来ている。防災対策の見直しを図り強化する必要がある。

平成17年6月
平成20年6月
平成23年9月

平成28年
6月

追跡結果

一部解決

自主防災組織の結成状況
43行政区中、平成17年 5行政区、平成20年 24行政区、平成28年6月現在 39行政区で結成済である。

第3子以降出生時祝い金制度の創設を



▲子育て支援センター

提言

出生率の向上、定住人口の維持・増加、子育て世代への経済支援の一助、また地域の活性化を目的とし第3子以降出生時に祝い金の創設を。

平成25年6月
平成26年9月

平成27年
4月

追跡結果

解決

「子育て応援出生祝金」が平成27年4月出生よりスタート。第3子以降のお子さんが生まれたご家庭への経済支援と子育て世帯を応援し児童の健全な育成を図るため支給。

議会運営委員会

議会改革の取り組みと議会運営について視察

岩手県滝沢市議会
議会報告会で寄せられた意見等を中心に「所管事務調査項目」を設定し地域課題解決に向けた議会としての調査研修を実施している。調査研究から「政策提言」の実現へを目指している。

また、危機管理として災害時の議会の対応をマニュアル化している。

議会の評価と議会改革の推進として、行動した結果を評価し、結果をもとにさらなる改革へ取り組みを進めている。

市民と議会がつながるための「手段」として市民議会、議会報告会、懇談会、議会フォーラムの開催や議会モニターを設置し定期的に意見交換会を開催している。議会サポーターは議会報告会の手伝いをし、議会アドバ



▲滝沢市議会より説明を受ける

イザーは大学教授で議員のスキルアップを目指している。

岩手県紫波町議会
議会の活動状況などに關して意見を聞き、議会運営に反映させる目的で議会モニターを設置している。

予算・決算審査での議決責任・説明責任を果たすため議員間討議の充実を図っている。さらに議案に係る課題・論点の共有化を図っている。

政務活動費はこのように使われました。

政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、議員1人当たり月額5,000円を会派に交付しています。

平成27年度政務活動費支出状況

〔単位：円〕

会 派 名	議 員 名	支出総額	収 入 内 訳		返 還 額
			町からの交付額	会派負担額	
新 政 会	堀江 一男 須藤 慎 柊 和也	181,544	180,000	1,544	0
緑 の 会	岡崎 隆 庄司 充 佐藤 巖	121,029	180,000	1,029	60,000
清 清 会	佐藤 貴久 大沼 忠弘 山崎 剛	227,160	180,000	47,160	0
青 葉 会	秋山 昇	60,514	60,000	514	0
若 葉 会	安藤 征夫	75,720	60,000	15,720	0
日本共産党	万波 孝子	60,296	60,000	296	0
政 道 会	丸山 勝利	100,494	60,000	40,494	0
公 明 会	高橋 芳男	60,514	60,000	514	0
真 道 会	佐久間克明	75,720	60,000	15,720	0
合 計		962,991	900,000	122,991	60,000

《政務調査費支出の内訳》

調査研究費(視察研修費用)/広報広聴費(新聞等の発行費用)

《調査視察研修の主な内容》

新政会/緑の会/青葉会/公明会 → 兵庫県川西市・京都府城陽市「子どもの人権オンブズパーソン事業」
「教育委員会改革」
清清会/若葉会/真道会 → 高知県津野町・徳島県神山町「再生可能エネルギー発電」
「人をコンテンツにした創造地域づくり」

こんな町に住みたいな



金ヶ瀬小学校
阿部 咲季

私が住みたい町は、ゴミがなく、気持ちのよい町です。

なぜかというところ、私の住んでいる辺りには、ゴミがしげみの中や公園などに落ちていてとてもきたなく、生き物にもえいきょうをあたえると思うからです。ゴミが公園などに落ちていると、そのしせつを気持ち良く使うことができません。だから私は、ゴミが落ちていない、きれいな町に住んでみたいです。



金ヶ瀬小学校
荒井 沙織

私の住みたい町は、住んでいる人がみんな思いやりのある優しい町に住みたいです。

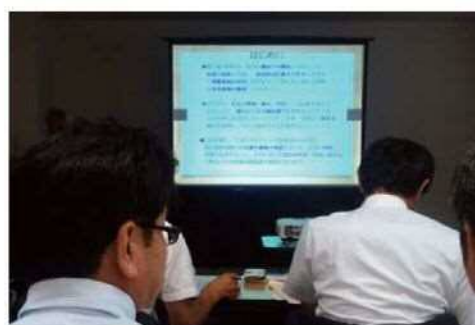
今は高齢者の人が多くなっている中で、重い荷物を持っているおばあさんがいけば持つてあげて、電車の中で立っているおじいさんがいけばゆずつてあげる。ゴミが落ちていたら、拾う親切さがある町がいいです。小さい赤ちゃんにも優しく接し、明るいあいさつで仲を深めたいです。そのために私は自分から明るいあいさつやゴミ拾いをして、優しい町づくりをしたいです。

9月議会のお知らせ 議会を傍聴しませんか
招集日 9月7日(水)・再開日 9月13日(火)
 詳細は議会事務局まで ☎53-2800

街かど ワンショット



小山田城跡
 小山田地区の入り口右側の小丘陵地で、本丸や二の丸と見られる平場、大手門、空堀などの遺構が残っているようだ。城主は伊達政宗の武将小山田筑前頼定で、天正16年(1588)伊達政宗が大崎家征伐で中新田城を攻めた時の軍奉行だが、戦中に誤って深田にはまり戦死した。加美町には小山田筑前頼定の供養碑がある。



7月12日に東京日帰り平成28年度町議会広報クリニツク(広報研修会)に広報委員7名全員で参加しました。毎年読み易い紙面づくりに活かそうと参加し、指導を受けます。現在の大河原町議会だよりに対するコンサルタントの評価は芳しくありませんでしたが、初心に戻り広報の果たす役割について改めて深く考えさせられた有意義な研修でした。

議会広報編集 特別委員会研修

編集後記

子どもたちにとって待ち望んでいた「夏」。プールや夏休み、イベントが盛りだくさんで心身ともに大きく成長するこの時期。先の選挙においては初の18歳から投票でした。私の18歳の頃はどうかだったのか。議員3年を迎え、「どのように次の世代に繋いでいくのか。」を考えるようになりました。今も大切です。しかし与えて頂ける環境をいかに活き、そして次の世代が夢と希望を持てるように良い形でどう繋いでいくべきか。子どもたちを見ていてそんなことを感じました。

(佐久間克明)

編集発行責任者

議長 秋山 昇

議会広報編集特別委員

委員長 岡崎 隆
 副委員長 須藤 慎
 委員 万波 孝子
 委員 柊 和也
 丸山 勝利
 佐久間 克明